

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	知多地区家庭教育支援チーム (呼称: SmileyDream) URL: NPO 法人 SmileyDreamHP http://smileydream.web.fc2.com/ FB ページ https://www.facebook.com/NPO.SmileyDream/
活動開始年度	2009 年度
活動拠点	NPO 法人 SmileyDream (愛知県知多郡武豊町六貫山 3-84)
活動範囲	知多半島全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施()
組織体制	18 名 子育てネットワーカー7名、愛知県子育て支援員1名、助産師1名、 保育士3 保健師1名、医師1名、弁護士1名、行政書士1名、 愛知県男女共同参画人材育成セミナー終了生2名、 公益社団法人 誕生学協会認定 誕生学アドバイザー 1名、 一財)日本幼少年体育協会 幼児体育指導者 1名、 体カメンテナンス協会 指導者1名
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 受託事業 ◇武豊町生涯学習課 子育てリフレッシュ講座(2011年～) 1時間半の講座を年5回 前半はバランスボール、アロマ、個性心理学、カラーセラピーなど 後半は愛知県教育委員会作成「あいっこ『親の学び』学習プログラム」 を用いてワークショップ



あいっこ親の学び学習プログラムとカードでワーク



バランスボールで体もリフレッシュ

◇東海市社会教育課 地域の繋がりをつくる家庭教育講座開催事業
2回の連続講座2クール(託児付き)

- ・対象:妊娠中または、未就学児の子どもを持つ保護者
- ・目的:子育てを通して地域との関わりについて学びながら、家庭教育の重要性を伝え、保護者が主体的に地域に関わることを促す。
- ・参加人数:前半 18名、後半 21名



参加者のワークの様子

◇東海市女性・子ども課 男女共同参画啓発事業(2015年～)

啓発誌作成 A5 サイズ P24 1000部

- ・対象 20～40代の子育層
- ・目的 男女共同参画の啓発

託児付きセミナー開催 子育て中の保護者または子育て支援者 50名
講師による講演と参加者によるワークショップ



参加者によるワークショップ

◇東海市女性・子ども課 育児休業中の子育て支援事業(2012年～)

仕事復帰に向けての支援事業

ワークライフバランス(夢・仕事・家事・子育てのバランス)

企業からの講演(育児休業復帰までにしておくこと、これからの仕事の仕方)

夫婦のコミュニケーションと役割分担

年2クール6回の連続講座

・対象:第1子育児休業中の女性とその夫

・参加人数:20組(2回は父親が参加)託児付き



復帰後の子どもとのコミュニケーションについて



夫婦で30年後を考える



子どものアルバム作りをしながらママ同士の情報交換

◇東海市女性・子ども課 女性活躍推進事業(2018年～)

育児休業復帰後のママのための講座2回

・復帰後、予測していたよりも大変だったこと

・会社、自治体の制度の利用

・ロールモデルの作成

女性管理職支援講座1回

・市内在住在勤でこれから管理職になる女性

・「女性が働き続けるために」についてワークショップ

どちらも託児付き講座



参加者によるワークショップ

自主事業

◇子育て中の女性の社会参画支援

子育て中の女性の起業支援・再就職支援
子育て支援者養成(講座・セミナー開催など)
男女共同参画人材育成



拠点



◇ママサークル HappySmileys 運営

参加者が自主的にサークル運営を行い、勉強会やリフレッシュ講座を企画運営
子育ての相談窓口にもなっている

毎月第 2, 4 金曜日 10～15 時(2012 年～)

- ・参加者は SmileyDream の事務、託児スタッフとして運営側としても活躍
- ・親だけの参加も多数

毎月第 1,3,4 木曜日 10～15 時(2015 年～)

- ・金曜日のサークル参加者が対象年齢を低くし立ち上げ
- ・育休中や再就職希望者が多数



社会福祉協議会へエコキャップを届けに



金曜日サークルでイベント企画打ち合わせ



クリスマス会

◇児童虐待防止・啓発活動(相談窓口)

オレンジリボン登録団体

イベントにて啓発グッズ配布

武豊町ネグレクト事件概要掲示

子育て相談(虐待、成長、疾患、障がい、生活、学校保育園問題など)

*最近は孫育て相談が増加



児童オレンジリボン啓発事業 めりえコンテスト

◇Mama ふえすた開催(参加者 3,000 名程度)

子育てママの活動支援

地域の子育てママ&パパの交流促進

児童虐待防止啓発



◇学生キャリア教育

大学生・高校生・中学生の職場体験受け入れ

授業への講師派遣

日本福祉大学サービスラーニング受け入れ



日本福祉大学サービスラーニング

◇おもちゃ図書館

月～水 10:30～14:30

おもちゃで遊ぶスペースの提供(相談)とおもちゃのレンタル



おもちゃ図書館の棚



入口(スタッフの子どもが出迎えます)

他リーフレット・HP 掲載

活動の成果

◇地域の人材育成

主体的に支援者として活動している(県や市町の子育て世代の代表として
審議会など会議への出席者に)

ママサークルへの参加から SmileyDream スタッフ、団体立ち上げ
子ども連れの母親の就労先(仕事として継続的に関わることができる)

◇地域の子育て支援団体養成

知多市・大府市支部会を運営し、各自治体での市民団体として活動
主催講座の受講者による子育て広場の開催
子育て支援団体立ち上げ(4市町)

◇リアル子育て世代の家庭教育啓発

SmileyDream 会員の個人事業主の家庭教育知識アップ
→同業の事業主との差別化になり、自身の収入にも繋がる相乗効果
普段の生活の中で意識や視点を変えるため情報発信
→子どもや母親の習い事の中で家庭教育知識を得ることができる
SNS で発信し、共感を得た人からのシェアによる拡散
→家庭教育の重要性、日常性を伝えることができるようになった

活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇チーム構成員が子育て中の女性のため人材が流動的 ◇変化の早い社会情勢にあった家庭教育支援の認識・知識提供 ◇子育て中の保護者の地域参加意識の低下 ◇子育て支援と家庭教育の目的が混同している ◇行政に柔軟さがなく、堅苦しく捉えられがちで啓発しにくい ◇地域性を取り入れるため、情報の解析に多大な時間と労力が必要
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇家庭教育を身近なものとして根付かせ、自主的な学びを推進 ◇家庭教育の最新事例など地域に情報を伝えられる人材育成 ◇家庭教育を学びたい人へ学びの場の提供 ◇孫育てをしている世代へ現在の家庭教育の情報提供をし、世代間ギャップを解消
問合せ先	<p>(代表者氏名) 櫻井雅美 (住所) 愛知県知多郡武豊町六貫山 3-84 (TEL) 090-6090-5250 (E-mail) npo@smileydream.mods.jp</p>